

## 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会

### 保幼こ小連携専門部会 発達・子育て支援専門部会

#### 合同部会通信（臨時号）

令和6年1月31日（水）に、令和5年度宇治市乳幼児教育・保育推進協議会 保幼こ小連携専門部会 発達・子育て支援専門部会 合同部会を開催いたしました。

部会の様子をお知らせします。

#### 主な内容

##### 「次年度の研修内容について」

#### 1.事務局説明

- ・令和5年度 乳幼児教育・保育推進事業 研修実績報告書
- ・公立幼稚園・保育所における人材育成の課題と今後の方向性
- ・令和6年度 乳幼児教育・保育協働研修 年間計画（案）

#### 2.意見交換

#### 専門部会とは

「保幼こ小連携」「発達・子育ての支援」の推進にあたり、現状の把握、課題抽出、対応策の検討、研究・研修の企画実施について、乳幼児教育・保育の実務をよく知る職員の意見を反映できる仕組みとするために設置したものです。

#### 合同部会とは

保幼こ小連携専門部会と発達・子育て支援専門部会が連携して、次年度に必要なセンター準備室で実施する乳幼児教育・保育推進事業の研修について検討を行うために設置したものです。



### ●研修のテーマ・あり方について

- 「皆が同じ方向を目指す」という意味合いのキャッチフレーズ（基本理念）が必要
- センター（準備室）が主催する研修は、基本的なこと、地域的なことなど、どの施設類型にも共通したことに焦点を絞って特色ある内容とするべき
- 上記をテーマに「学びたい、身に付けたい」ということを就学前施設と小学校の先生が自発的に出し合い、考えていくことが大事
- （仮称）架け橋ブロック（※）において、同じグループの小学校と就学前施設で話し合うことで地域の持っている特徴（課題）を共有でき、研究・研修テーマが浮かび上がる
- 「ブロックごとで話し合って実施するもの」「固定メンバーで複数回にわたって実施するもの」など、内容によって研修計画を分けて構成できればよい
- 就学前施設と小学校の先生が一緒になって小学校での指導案を考えるなど、就学前施設で伸ばしてきた力を小学校でさらに伸ばすための研修が必要
- 研修参加者は学ぶことだけではなく、顔の見える関係づくりやネットワークづくりを求めているため、交流の機会を設けることが重要
- 交流だけでなく、子どもたちが就学前施設や学校に安心して通える環境をどのようにつくっていくかについても話し合える場が必要

（※）…「保幼小連携」の取組推進に向けた小学校区を基本としたグルーピング組織

### ●公開保育（公開授業）について

- お互いの違いを見知るのに最も相応しいのは「公開保育」である
- ブロックごとに実施することで、地域の持っている特徴（課題）が共有できる
- 一定期間を設けて、お互いに都合がいい時に来てもらう方法がよい
- ただ単に見るだけでなく、見に来た先生が感じた自身が所属する施設との違いや疑問、公開保育を実施する側の保育の意図など、お互いの意見を話し合う機会が必要

### ●センターが担う役割について

- 就学前施設と小学校、就学前施設同士で交流の機会を設ける等のコーディネート
- 研修に積極的に参加してもらうよう、いかに先生にモチベーションを持たせるかが重要
- 乳幼児教育・保育に関する研修を受けたことを証するもの（パスポートなど）があればよい
- 保護者に安心して子ども預けてもらえるよう、就学前施設の先生がスキルアップのために研究・研修をしていることが伝わるような情報発信が必要
- 研修の評価を行い、毎年ブラッシュアップを図ることが必要





### (仮称) 乳幼児教育・保育支援センターとは

施設類型を越えて全市的に連携・協働し、各施設での取組を共有することにより、これまで以上に、保幼小連携の取組推進や人材育成など、教育・保育の質の向上を図ることが可能となると考え、その仕組みづくりとして（仮称）乳幼児教育・保育支援センターを設置する。

### 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会とは

すべての就学前施設が施設類型を越えたネットワークを構築すべく、乳幼児期の子どもたちの状況や課題を共有し、連携、協働して研究・研修を行うことで、教育・保育の質の向上及び人材育成を図るとともに、各施設間、家庭・地域の教育・保育力の確保・向上を支援するため、宇治市乳幼児教育・保育推進協議会を設置する。

